

国士舘大学・文学部地理学教室

NEWSLETTER

154 東京都世田谷区世田谷4-28-1 TEL.03(422)5341 (内線) 635/636

NO. 3

MAY 1989

《本号の内容》

- 1: 内田文庫（仮称）のこと
- 2: 学生が利用できる地理学教室の備品
- 3: 教員の在室時間割
- 4: 1989年度開講科目一覧と担当者
- 5: 地理学科卒業生に対するアンケート調査
- 6: 地理学研究室購入図書・備品リスト（1988年）
- 7: 1988年度卒業論文表題一覧
- 8: 教員の研究活動

内田文庫（仮称）のこと

大崎 晃

誰でもまず日常（本教室の場合は教育活動がこれにあたりますが）を充実させることから出発することは当然ですが、それだけに満足してはしだいにマンネリ化してしまいます。つねに何か新しい企画をもって進んで行きたいものですが、企画には予算が前提になります。しかし学内に埋もれている資料類を整理して利用に供するような企画ならばあまり予算の制約をうけないですみます。昨年NEWSLETTER NO.1では岩石・化石等の標本資料室の整備についてふれましたが、今年は故内田寛一教授の蔵書について書こうと思います。内田先生は昭和41年本教室の発足から44年10月に亡くなられるまで教室主任をつとめられました。先生の蔵書の一部は本学図書館に寄贈されたのですが、図書館では新収図書の整理に忙殺されて、利用者が限られる古い資料までとはとても手がまわらない状況です。そこで本蔵書を図書館より移管の措置を経て教室で管理することとし、教室の教員・学生らの手で目録を整備・刊行して利用に供することができれば、内田先生のご遺志にもそうができると思います。蔵書の内容は教科書をはじめとする地理教育関係のユニークなコレクションで、学外の研究者にとっても価値あるものと思われます。

なお昨年NEWSLETTER NO.1でふれた、地図製作法・リモートセンシング等の授業ができるように9号館に写真暗室を設置する企画は、昨年度に予算がつきながら工事が遅れておりましたが、今年は着工の見込みですのでご期待下さい。

学生が利用できる地理学教室の備品

研究用機器

研究室で新たに購入した研究教材用の機器についてはNEWSLETTERで公表される。教室所有の全機械リストは教員に問い合わせれば見ることができる。

学生は、原則として卒論・個人研究用にこれらの機材をすべて利用することができる。しかし、機材の使用方法を熟知していることが条件である。使用方法などは、教員に問い合わせること。

書籍

研究室で新たに購入した研究教材用の書籍・雑誌についてはNEWSLETTERで公表される。教室所有の書籍リストは現在はまだできていない。世田谷校舎、地理学第2研究室で手続きの後、1週間の貸出サービスを受けることができる。研究室のオープン時間は、次ページのとおりである。

なお、国内、外国で最近出版された地理学関連書籍約2000件のリスト（野口作成）は、野口、長谷川が保管しているので問い合わせることができる。

過去の卒業論文

昭和58年度以降の約300編の卒業論文のリストがある。教員に問い合わせるか、あるいは地理学第2研究室の書架にある「卒論リスト」ファイルを参照すること。卒業論文は研究室で保管しているが、公開・貸出は担当教員（主査）の判断で行っている。

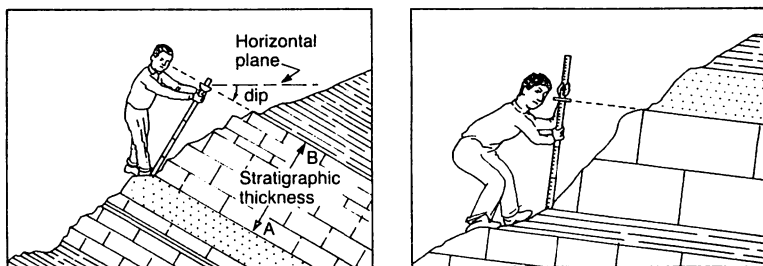
地形図

研究室で所有している地形図・地質図などのリストはデータベース化してコンピュータ入力中であり、近日中に一部分公開され、学生も利用できる。これらの地形図類は、研究室で閲覧できるが貸出サービスは行っていない。

空中写真・LANDSAT DATA

研究室で所有している空中写真・ランドサットデータ(FLOPPY DISK)のリストは教員に問い合わせれば見ることができる。授業で利用している場合は貸し出せないが、それ以外は貸出サービスを受けることができる。ただ、これらの複製はできない。

機器・書籍などの購入には学生の希望を出来る限り受け入れます。しかし、機器類の購入は前年度に予算化しなければなりませんので出来る限り早めに教員に希望を伝える必要があります。教室では、利用頻度、必要性などを協議したうえで購入の可否を決定します。上記の各リストは、近日中に書架に置くなど、いつでも自由に見ることが出来るようになります。



Use of the Jacob staff for measuring sections (from Kottlowski, 1965).

Measuring stratigraphic thickness AB.

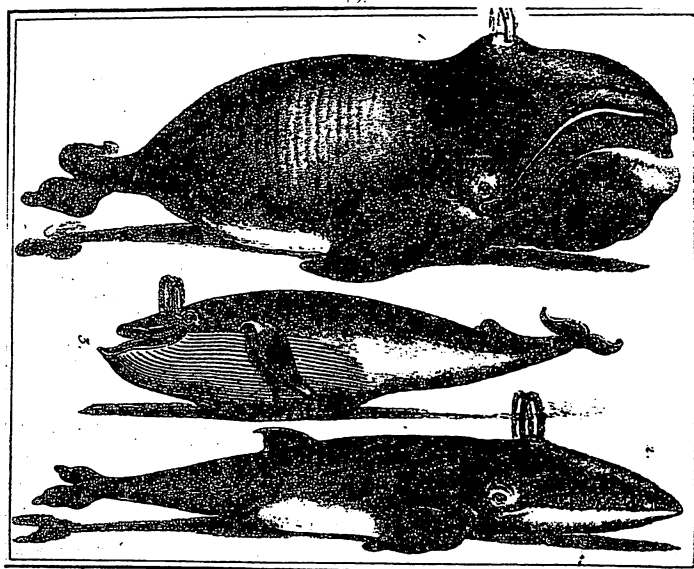
Measuring a unit with thickness less than the length of a Jacob staff.
(Reproduced by permission of CBS.)

1989年度 講義・在室時間割

Os: 大崎 Na: 長島 No: 野口 Ot: 太田 Ha: 長谷川 イニシャルは講義時間を示す
 : 鶴川校舎 — : 在室時間 (----- は、在室していることが多い)

	9:00-10:30	10:40-12:10	12:50-14:20	14:30-16:00	16:10-17:40
月	-----				
火	-----				
水	-----				
木	-----				
金	-----				
土	-----				

- ・ 金曜日、会議のある場合は全員が出校しています (月1~2回)。
- ・ 上記時間以外の面会、相談などはAppointmentによります。相談、質問などは教員の出勤中に済ませて下さい。教員の自宅、特に非常勤の先生宅への電話は極力ひかえて下さい。
- ・ 研究室の電話は、422-5341 (内線) 635:長島・太田/636:大崎・野口・長谷川です。



本年度開講地理学専攻専門科目一覧と担当者・開講日

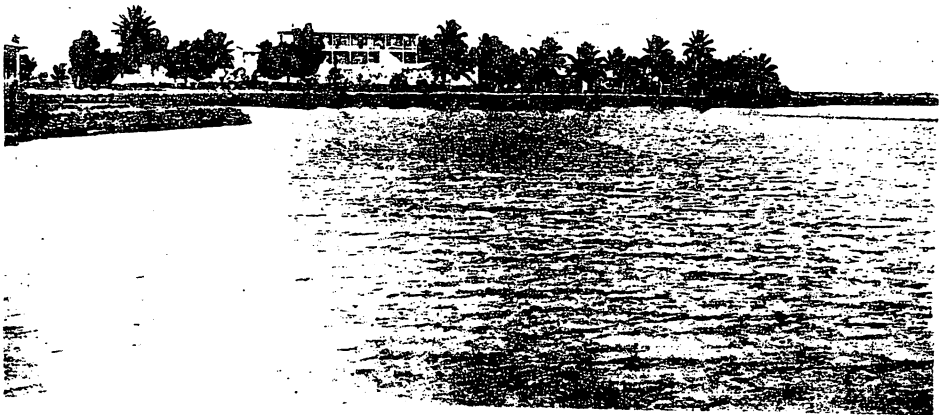
鶴川校舎

(カリキュラム移行期間につき、旧カリキュラム科目も含まれている) 46科目 教員数: 18

学年	科目名	担当者	曜日時間	学年	科目名	担当者	曜日時間
1	人文地理概説	大崎 晃	木5・6	3	外国地誌77カ	野口泰生	金1
1	自然地理概説	野口泰生	木5・6	4	外国地誌途上地域	長島弘道	木1
1	計量地理入門	長谷川均	火2	4	外国地誌環太平洋	小倉 眞	金2
2	地理実習	長谷川均	火1	3/4	課題研究	大崎 晃	土4・2
3	地図学	瀬戸玲子	金5	3/4	課題研究	長島弘道	火2・5
3	地理学演習Ⅰ	横山秀司	木4	3/4	課題研究	野口泰生	月3・5
4	地理学演習Ⅱ	小倉 眞	金1	3/4	課題研究	太田晃舜	火4・5
2	地形学	長谷川均	火3	3/4	課題研究	長谷川均	木5・2
3	地質学	田淵 洋	木2	1-3	地理巡検	大崎 晃	集中講義
3	気候学	野口泰生	金2	1-3	地理巡検	長島弘道	集中講義
3	生物地理学	横山秀司	木3	1-3	地理巡検	野口泰生	集中講義
3	集落地理	長島弘道	火4	1-3	地理巡検	太田晃舜	集中講義
3	歴史地理学	大崎 晃	土3	1-3	地理巡検	長谷川均	集中講義
3	経済地理学	上野和彦	土2	3	測量学	瀬戸玲子	金4
4	政治地理学	長島弘道	木2	4	測量実習	柴田英明	月3-4
4	地域開発論	上野和彦	土1	3	情報学概論	小亀 淳	火5
4	リモートセンシング	長谷川均	木3	2	77カ77カ A	小亀 淳	水4前期
1	日本地誌	太田晃舜	木3	2	77カ77カ B	小亀 淳	水4後期
2	首都圏地誌	福島義和	月2	2	77カ77カ A	山田 眞	水1/2
2	外国地誌77カ	福島義和	月3	2	77カ77カ A	石川博明	金4前期
3	外国地誌ヨーロッパ	横山秀司	木5	2	77カ77カ B	山田 眞	水1/2
3	外国地誌77カ	大崎 晃	土1	2	77カ77カ B	石川博明	金4後期

1989年度地理学科学学生数 合計303人

(1年80 2年94 3年63 4年66人)



地理学科卒業生に対する

アンケート調査

(1989年2月20~21日)

卒論を書き終えて最も印象に残ること、要望、その他(たとえば、卒論の手引きの使い方、論題の決め方、指導の仕方、等)について書いて下さい。

- 1) 卒論を書く上での十分な準備、指導(余裕をもってとりかかれるように等)をおこなってほしい。
- 2) 卒論を書く上で十分な調査をすべきだった。
- 3) 地理の論文の書き方をもっと教えてもらいたい。どういう地域をどの様な方法でやればおもしろいのかの例を示してほしい。
- 4) 野口先生の概説Ⅱの単位を取得できたこと。大崎先生のアフリカ地誌、特に奴隷についての話が興味深かった。長島先生の講義を受講できたことは、一番の財産であった。卒論に関しては生活のリズムが崩れるほど全力をつくした。長谷川先生の地理学実習で地理学専攻としての自覚が持てた。
- 5) やっと終わったかという気持ちです。企業は利益にならないことは余り協力しない。課題研究をなくして、その時間を自分自身の卒論の時間にすべきである。
- 6) 農家へのアンケート調査が大変でした。農家への聞き取り調査をしたのは、はじめてだったので大変なためになった。農家へ行って思ったことは、三浦の農家の人々は自分の土地にほこりを持っていた。終わったときはやったという気分になりました。
- 7) 卒論の手引を自然、人文で2つ作ってほしい。
- 8) やっと終わったというかんじ。卒論作成にあたりお世話になった方々にお礼をいいたい。
- 9) つかれました。
- 10) もっと「文」について指導して欲しかった。過去の卒業論文をもっと見られるようにして欲しかった。調査が大変だった。面接は必要ないと思う。
- 11) 卒論の手引は、卒論を作成するにあたっておおいに役立った。先生の指導もその時、その時に応じて適切な指導をいただき大変助かりました。
- 12) 「卒論の手引」の人文編をつくって!
- 13) 手引を自然と人文とわけてほしい。
- 14) 卒論の発表はもっと早くやってもらいたい。
- 15) 調査にもっと時間をかけるべきだった。
- 16) 卒論の面接はあまくなかった。キツイ!!
- 17) 面接試験はもっと早い方がよいと思う。主査以外の先生ともっとマメにコンタクトをもった方がよいのでは?早くから手をつけよう
- 18) テニス観光について論文を書いた人は、私が初めてなのでその点多少大変であった。アンケート調査において、実態調査のみでなく、意識調査をもっとやる必要があったと思う。資料をもっと分析加工したりして、独自の資料をよく作るべきであった。
- 19) 調査に協力してくれた農家に感謝したい。
- 20) 11月、12月にもっと指導を受ければ良かった。
- 21) 卒論の手引を読み、もっとよい卒論にしたかった。卒業論文の難しさを知った。
- 22) 東京湾横断道路について書けば良かったと思います。指導の仕方のもっとものことです。これから気をつけたいと思います。(原文のまま)
- 23) 文章力、国語力アップするための講座の新設。自然地理(地形学)に関する文献の充実。地理学のもよおし物(学会etc.)の案内を充実する。
- 24) 50枚という印象が強い。

- 1 週間どの日でも指導が受けられる体制をとってほしい。
- 25) アンケート調査をもっと違った方法でやれば良かったと思う。
- 26) 論題の決め方について非常に困った。
- 27) 移動観測のデータのアレンジが不十分でつまらない論文になってしまった。先生が多忙にもかかわらず私に対応して下さい。卒論の開始を早めて欲しい。
- 28) 義務的に書かされているのではなく、調査をしていくたびに面白さを覚えたことが自分で意外だった。
- 29) もっと論文を読むべきでした。
- 30) もっとよく分析すべきだった。
- 31) とめていねいに教えてもらいました。
- 32) 提出日直前になってくると考えが凝詰まってくる。
- 33) 大変だった。手引はよかった

地理学教室への要望が有ったら書いて下さい。

- 1) 教材(機材)等の設備をもう少し増やしそろえてほしい。
- 2) コンピュータなどの機材を増やして欲しい。
- 3) 教室など地理学専用の設備の充実。
- 4) 文学部の地理学科なのだから人文と理系に分けて授業をすべきである。地図学、演習Ⅰなど特に理系の地理を重んじているのではない。
- 5) もう少し日当りのよい教室にして欲しい。コンピュータをふやしてほしい。机をふやしてほしい。
- 6) パソコンの数がもう少しほしい。1~2年次の情報学概論のように必修とのダブリなどに気を付けてほしい。
- 7) 研究室の拡大、充実
- 8) 卒論面接をもっと早くして欲しかった(前日より会社の研修が始まっておりそれを抜けさせてもらってこれに出た)
- 9) 閉鎖的なところがあつたので何とかするべきだ。
- 10) 他の大学との交流の場をもうけてもらいたい。
- 11) コンピュータをもっとたくさん入れてほしい。その他の設備の充実。若いかつこいい20代の先生を用いて下さい。もうおそいかな。冗談です。
- 12) もう少し少人数制にしてもらいたい。
- 13) ウーターフロント(原文のまま)の資料を入れてほしいと思います。
- 14) 他大学地理学の学生との交流のそくしん。留学生を積極的にうけいれてインターナショナルな地理学科にする。実験室などの地理の設備を充実させる。人文、自然の二つの論文を可(もしくはダブル優)以上になった者には賞金100万円与える制度ないしは4年間学費逆戻し制度の実行。
- 15) 休講が多いことから興味の無い単位まで取らなければならないことを改善して欲しい。
- 16) 外国の写真などを教室に展示したらよいと思う。
- 17) コンピュータのソフトの充実。地理学専用の教室を作って欲しい。タバコを吸うのをみとめてほしい。
- 18) 機材や地理学関係の図書を増やすか、図書に関しては新しいものにして欲しい。
- 19) 本を増やしてほしい。
- 20) 地理学専用の教室が欲しい。
- 21) 研究用機器(パソコンなど)の増設。資料となる書籍、雑誌などの増設。

文学部（又は、大学全般）について要望が有ったら書いて下さい（例えば文学部事務・就職指導・設備に対する要望など）。

就職指導または就職センターに関する要望

文学部は就職指導が不十分である（欠席をもっと認めるべきである）。

就職センターの職員の学生に対する態度が少し高飛車ではないかとおもう。就職指導を早くしてほしい。

就職センターの職員はいばりすぎだ。

就職センター職員の質の向上。

就職指導はもっとちゃんとやってほしい。

就職指導は、ほとんど役に立たなかった。

イメージアップに力を入れてほしい。

就職指導の強化。

就職指導をもっと強くやってほしい。

就職部の人間は民間企業の人事の人をヘッドハントしたほうがよい。

就職指導に大企業の人事部長などを採用する。

学生の身になった就職指導。

制度、大学のイメージなどに関する要望

学生誰もが、気楽に出入りできるように、もう少し、解放的であった方がよいと感じる。

学生主事制度は廃止すべきである（他大学はなし）。

その他（就職センターの他）の職員の質の向上が望まれる。

他の専攻を増やす（西洋史とか・・・）

頭のかたい教授はいらない。

こんなものいらない学生主事制度。助手制度に変えるべきである。

他学部に隣接できるようにする。

外国への留学生制度や留学生との交流をもっと増やした方がよいと思う。

設備などに関する要望

トレーニング室における設備の改善。

国士館は設備が悪い（学食、教室、トイレなどなど）。

土地をもっと広い場所へ移してほしい。

設備が少ない（土地が狭い）

もっと図書館に本や雑誌を入れて欲しい。国会図書館へ何回も行きたくない。設備をもう少し増やしたほうがよいと思う。

図書館の設備をよくしてほしい。

机と椅子のネジがゆるんだりして使いにくいので直してほしい。

世田谷のキャンパスがせますぎる。

鶴川へいくバスが混雑し過ぎる。

地理学科のコンピュータを充実させて欲しい。

学校の校門を出たときの細い道路が危険（特にグラウンドと本校の間の道）

改装をもう少し早くして欲しかった。

設備を充実させる。

広場が欲しい。

校内がもっと広くならないか。

電気容量を大きくする（たまにブレーカーが落ちたり、電圧が落ちたりする）

学生食堂に関する要望

食堂の整備、拡大。

国士館は設備が悪い（学食、教室、トイレなどなど）。

もう少し学食をきれいにしてほしい。設備をよくしてほしい。

学食にBGMを流してほしい。

学食が高校生と一緒に混雑し過ぎる。

学食の改革：きれい、おしゃれ、ハイセンス

学食が小さい。

学生食堂の改善。

学食を拡大して欲しい。



文学部のゼミは卒論制作のためにあるわけですが、4年生からはじめる就職活動との絡みもあってどうしても中途半端になってしまふ。そこで、本学文学部地理学専攻では3年生後期からゼミが始まります。特に、自然地理学を研究する場合は1年を通して、つまり、どうしても四季のデータを揃える必要が出てくる場合があります。私のゼミでは、気候と植物との関係、あるいは気候と地形との関係をテーマにしていますが、1年間のデータ、それも実証的データが不可欠です。卒論のテーマは一人ひとりの学生にまかせていますが、気候学を研究する上でこの方法は私がしっかりと教授しなければならぬでしょう。そのためには、例

えば樹木の年輪などは絶好の材料になります。年輪からは様々なものが推測できます。100年以上も前の気候の状態や異変を推測できます。ただし、まず、年輪のサンプルが過去の環境状況の証明になり得るかを確認しなければいけません。そして、年輪の形態にどのような要素が影響を与えているのか、サンプルがあつた地形はどういう環境かなどと、ひとつずつステップを追って調べていく必要があります。データを集め、推測し、確認していかなければ何も確かなことは言えないのです。学生達には卒論を制作する中で、理論的な考え方と調査していく際の正しい手順を身につけて欲しいと考えています。

ひとつずつステップを追いながら真理を探究する。

すべての回答を掲載しました

地理学研究室購入図書

リスト (1988年度)

- 日本放送協会
宇宙からみた日本列島 (竹内他)
- 写真工業出版社
コンピュータ・イメージング (坂田)
- リモートセンシング技術センター
地球観測データ利用ハンドブック
ランドサット編 (改訂版)
MOS-1編
- 泰流社
リモートセンシング
(キャノンイメージ編集室編)
- 共立出版
宇宙からみた世界の農業 (内嶋他)
宇宙からみた世界の森林 (辻井他)
写真測定入門 (西尾)
画像データのコンピュータ処理
(日リ研究会)
第四紀 (新堀他)
- 東京大学出版会
日本地形論 (吉川他)
- 築地書館
地学ハンドブック
- 東海大学出版会
水と地形
土と岩石
地層と化石
くらしと環境
星と天気
- 現代数学社
多変量統計解析法 (脇本他)
- 同文書院
調査とサンプリング (林他)
- 朝倉書店
多変量グラフ解析法 (脇本他)
図説日本の樹木 (矢頭)
- 地人書房
ツンドラとタイガの世界 (斉藤)
- 技報堂
地図学用語辞典
- ぎょうせい
環境アセスメント実務必携
- 原書房
城下町東京 (正井)
- 平凡社
日本の野生植物 (草本、3冊入り)
平凡社版気象の事典 (内田他)
- 北隆館
原色樹木大図鑑 (林他)
- 講談社
図説花粉 (岩波)
- 古今書院
アジア・オセアニア (川崎)
地図の教室 (大久保他)
地形の教室 (中野他)
地質調査法 (渡他)
気候の教室 (矢沢他)
郷土の調査法 (中野)
南アルプス探検 (杉山)
日本の気候 (倉嶋)
生態調査のすすめ (沼田)
野外調査・論文作成 (青野)
地理増刊号 地理とコンピュータ
- 地理増刊号 ジオグラフィックス
風土産業 (新装版) (三澤他)
気候学入門 (水越他)
気候地形学 (ビュテール)
気候変動の実態 (河村)
気候と環境 (上・下) (フテイロ)
気候変動の周期性と地域性 (河村)
雪崩の世界から (新田) (改訂増補版)
パソコンによる数理地理学演習
(野上他)
- 共立出版
植物形態学入門 (小林)
植物の生態 (門司)
植物の生態 (田川)
気象 (根本)
気象学入門 (ハク)
- 名著出版
気候は変えられるか (高野)
- 隅田川 (島)
- 南江堂
プレゼンテーションのための
図表と写真
- 日本測量協会
現代測量学、(3) 一般測量
- 日本地図センター
全国都道府県市区町村面積調べ
(付図とも) (2冊)
- 日本気象協会
永年気候観測累年報 (1976-1980)
観測技術資料48号
気象災害の統計 観測技術資料50号
外国気候表 (1951-1980)
観測技術資料51号
永年気候観測累年報 観測技術資料
52号
天気図集成 1976-80
天気図集成 1971-75
地上気象常用表 (追録付き)
(気象庁)
気象観測の手引 (毛利)
高層天気図の利用法 (大塚)
日本気候図 (気象庁)
累年気候表 (1971-1980) (気象庁)
天気図の書き方手引 (大塚)
天気図の見方手引 (大塚)
天気図の四季 (松本)
- 二宮書店
アメリカとカナダの風土 (正井)
フランスの都市 (高橋)
南アジアの国土と経済 (4分冊)
ラテンアメリカ (3巻)
ルール工業地域
ヨーロッパの文化景観 (佐々木)
地理学辞典増補版
- 大月書店
地図をつくる
(全建設省労働組合地理支部)
- 美術出版社
地図をつくる (森下)
- さきたま出版会
武州手作り
- 昭文社
1:10,000東京23区詳細図
- 裳華房
実用的な科学論文の書き方 (田中)
科学論文の書き方 (田中他)

植物の形態 (原)
 蒼樹書房
 縄文の海と森 (前田)
 火山灰は語る (町田)
 大明堂
 アメリカ農業の変貌 (上下)
 アメリカの土地制度
 アフリカ (小堀)
 アングロアメリカ (中野)
 房総半島 (菊池)
 中京圏 (伊藤)
 日本の大都市圏 (山鹿)
 日本と東京 (木内他)
 西ドイツの地域計画 (祖田)
 オセアニア (石川)
 世界地誌ゼミナール (全9巻)
 新日本地誌ゼミナール (全7巻)
 都市学と総合アセスメント (中沢)
 東アジア (河野)
 転機に立つアメリカの農業構造
 ヨーロッパ (藤岡)
 気候学 (吉野)
 気候変動と食糧 (高橋)
 世界の自然環境 (山本他)
 雷と生活 (吉野)
 地理学文献目録 (第4集)
 東京堂
 ヒマラヤの気候と氷河 (安成他)
 これからの気象観測 (12) (村山)
 高層の大気 (木田)
 日本・世界の気候図 (福井他)
 大気の汚染と気候の変化 (11)
 (原田)
 大気境界層の科学 (4) (近藤)
 丸善
 理科年表 (机上版)
 気象と気候 (高橋他)
 宇宙からみた地球
 アスキー出版
 花子入門
 Multiplan 3.1入門
 Candy3 入門
 日本ソフトバンク
 花子応用ガイド (猪久間)
 一太郎Ver.3ガイド (田口)
 Lotus1-2-3ガイド (田口)
 ナツメ社
 Word Star ハンドブック
 岩波書店
 火山と地震の国 1.
 日本列島をめぐる海 7.
 人文書院
 自然保護の思想 (吉良)
 毎日新聞社
 世界の気象 (高橋) 1974
 日本の気象 (高橋) 1975
 大蔵省印刷局
 異常気象レポート '84 (気象庁)
 知っておきたい異常気象 (朝倉編)
 沖縄出版
 南島の地形
 新草出版
 高層天気図を描く (丸山)
 帝国書院
 地図学の基礎 (ロビンソン・セル・モリソン)
 東海大学出版会

大水河時代 (井尻)
 海洋・気候の長期変動 (マクシマ)
 環境教育論 (沼田)
 東京大学出版会
 気候環境学概論 (福井他)
 築地書館
 森林の生態学 (依田)
 土壌地理学序説
 自然災害科学事典
 養賢堂
 新編農業気象学通論 (大後)
 三省堂
 ワープロ漢字辞典
 その他
 神奈川県植物誌
 アーバンクボタ No.10~26
 日本地理学会予稿集 No.24~33
 時刻表
 宿泊表
 信州の気候百年誌
 (日本気象協会長野支部)
 秩父の気候
 秩父のお天気今昔
 武甲山総合調査報告書

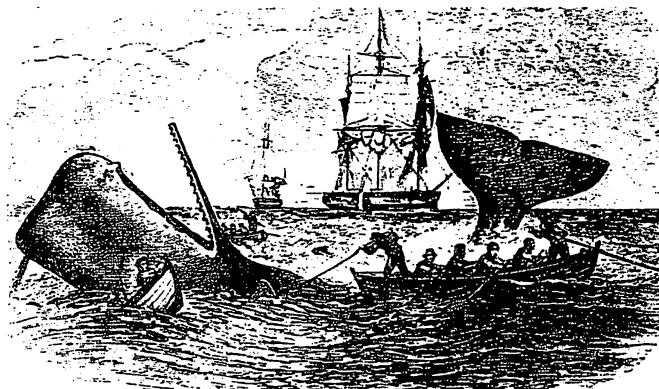
以上、193タイトル(重複購入を含めて
 200冊以上)の単行本を購入しました。

地理学教室購入主要備品

リスト (1988年度)

地図製作法 (新カリキュラム) 用暗室備品
 (引伸機、レンズ、タイマ他機材一式)
 展示室用シェークス×2 測量用スタップ
 自記式乾湿度計×2 アスマン×2
 マップケース 電気掃除機×2
 パソコン本体(PC-9801VM21) など一式
 ハードディスク デジタイザ
 XYプロッター テープレコーダ
 パソコンソフト (デジタイザ、プロット用
 など6種類)
 空中写真 ランドサットデータ
 以下省略

1989年度は学生用パソコンを増設するほ
 か、ランドサット画像解析機器一式、気象観
 測用データロッガーなどを購入する予定です。



1988年度地理学科卒業論文表題一覧

堀江 静
 塩谷宗一郎
 笠間照雄
 田神明彦
 遠藤佳彦
 新村正嗣
 藤巻茂樹
 古川 悟
 三堀一誠
 府川茂幸
 白花秀訓
 藤田淳一
 植村誠一
 城山圭一郎
 和田 栄
 永田雅和
 谷中一実
 石山貴峰
 天野哲人
 角田輝光
 若狭 敦
 新井照久
 中屋敷実行
 永嶋高志
 田中智雄
 倉根琴著
 小西隆夫
 大西正明
 高橋昭臣
 横田康行
 石井紀世
 加藤 聡

高齢化に伴う老人福祉施設の立地動向の分析
 神奈川県横浜市北西部の都市化
 神奈川県三浦市の松崎、昆沙門地区における農業の現状と野菜栽培の特徴
 埼玉県行田市における衣服産業の展開
 小田原市におけるカマボコ製造業界の歴史的発展と業況について
 鹿児島県枕崎市、山川町における饅頭の生産と流通
 山梨県富士川水系塩川の地形発達史
 新潟県新井市における工業の発展と今後の課題
 神奈川県小田原市、箱根町における木製品製造業の現状とその問題点
 海岸平野の気温分布に与える風の影響
 静岡県掛川市における進出企業の進出理由とその動向
 東京都大田区西糎3丁目地区における新規開設工場の現状とその問題点
 多摩丘陵東部（川崎市麻生区・多摩区）の小起伏地における気温分布について
 都市公共交通の中のバス交通の実態と活性化
 千葉県安房地域における花き生産と流通について
 佐賀県杵島郡福富町における稲作の現状
 横浜市緑区の市街地化調整区域における土地利用と農業
 最上川中流部荒砥峡谷の河岸段丘形成
 山梨県山中湖村におけるテニス民俗地域形成について
 木更津市の漁業の現状と将来
 神奈川県綾瀬市における高座豚の現状と問題点
 前橋・高崎両市の都市機能
 三陸海岸北部における観光開発の地域的展開
 福島市におけるもも生産の動向と存在形態
 栃木県宇都宮市・矢板市・塩谷郡氏家町におけるヒートアイランド現象の発生状況と月別変化
 長野県佐久市における養蠶業の将来の展望
 香川県金比羅観光地の現状と問題点
 千葉県松戸市高塚地区における梨生産地域形成と問題点
 川崎市北西部新百合ヶ丘地区における地域開発と問題点
 福岡県柳川市における水路浄化政策
 埼玉県秩父市における気温分布の解析
 葛飾区における幼稚園の現状 特に関人口との関連について

教員の研究活動

- 大崎 晃教授
 1989 書評 柿本典昭著『漁村研究 - 水産地理学への道標 -』 大明堂
 漁業経済研究、33巻1号、71~78。
 1989 「駿州焼津における近世の漁業賃租制度」法政大学教養部紀要、71号、1~22。
 1989 『図説 日本の地域構造』石井素介他編著、古今書院、150頁、の4刷（横山先生らと分担執筆箇所のあるもの）
 1989 『益子町史 第5巻 窯業編』大川 清編著、益子町役場、800頁、（5月末日刊行予定。長島先生らと分担執筆したもの）
- 長島 弘道教授
 1988 The Function of the Primary Rural Settlement in Improvement of Living Environment in Rural Japan. GEO-REGARDS 5, pp.159-167, Université de Neuchâtel, SUISSE, 1988.
- 野口泰生助教授
 1988 「樹木の成長量と気温との関係について」気候学気象学研究報告（筑波大学地球科学系）、14、43-52。
 1988 Observation of Evaporation by Unconventional Methods in Hawaii: Small Cans and Piche Evaporimeters. 国士館大学文学部人文学会紀要、21、147-172。
 1988 (分担執筆) 話題源 (地理・歴史・公民政経)、東京法令出版
 1988 「南アメリカのベネズエラ北部・カリブ海沿岸にステップ (BS) 気候が分布する要因は何か」地理月報、11月号。
 1989 「季節風 (モンスーン) について」地理月報、1月号。
- 太田 晃舜講師
 1989 「海洋境界帯南海の性格 ~ 島嶼の実態と海の領有化 ~」国士館大学人文学会紀要 別冊1 89~109。

長谷川 均講師

昨年度公表した学術論文はない。